



観光と地域との交流 2025年浅草「雷門盆踊り」 浅草盆踊り × 自衛隊

自衛隊東京地方協力本部台東出張所（所長 野川一陸尉）は9月6日、浅草で実施された下町の夏を彩る浅草「雷門盆踊り」において広報ブースを開設し、多彩な展示と体験型イベントを実施した。

当日は、地域の方や観光客で賑わい、設置したブースには終日多くの方が足を運んだ。

会場では、第1音楽隊による迫力のあるマーチング演奏が披露され、訪れた観客の心を魅了する合奏に盛大な拍手が送られた。また、軽装甲機動車や偵察用オートバイといった装備品展示では、写真撮影を楽しむ家族連れなどの姿を見ることができた。

さらに、VRによる臨場感あふれる体験や迷彩服などの試着体験も好評で、子供たちは本物の隊員さながらの自分の姿に終始笑顔だった。その他にも海上自衛隊の砕氷艦「しらせ」が持ち帰った「南極の氷」の展示では、来場者は手に触れながら氷の中に閉じ込められた太古の空気を肌で感じる特別な体験を味わっていた。

今回の広報活動を通じて、自衛隊の役割や多様な活動を幅広い世代の方々に伝えることができ、地域と自衛隊の絆を深めた一日となった。

台東出張所は、今後も地域に安心と信頼をもたらすため創意と工夫、そして本気の努力を重ねていき、地域と構築した絆を更に深化させ、入隊者獲得につなげていく。



「サッカーJ1リーグ試合会場」で広報活動を実施

自衛隊東京地方協力本部（本部長 鹿子島陸将補）は9月20日、味の素スタジアムで開催されたサッカーJ1・第30節の東京ヴェルディ対フアジーアノ岡山の試合会場において広報ブースを出展した。

本広報活動は、東京ヴェルディ事業部運営グループと連携し、自衛隊の活動内容や社会的な役割を周知することで理解の深化及び魅力化を図るため広報ブースを出展したものであり、当日は、時折、強い雨が降るあいにくの天気にもかかわらず、サッカーファン約1万3千人の大観衆が集まる中、屋外イベント会場（アジアパシフィック広場）において、高機動車及び11/2tトラックの展示のほか、ガラポン抽選会や迷彩服・制服の体験試着コーナーを設けた。

来場者からは「自衛隊の活動をいつも見て応援しています」「大変な仕事ですが、頑張ってください」「イベントの時にまた来てほしい」など多くの心温まる声を聞くことができた。

今回の出展にあたり、プロスポーツの集客力の高さを目の当たりにするとともに、このように部外組織と連携することで多くの来場者に対し、自衛隊への関心や認知度向上の促進を図ることができたと感じた。

東京地本は、今後も自衛隊への理解を深めるべく、様々なイベントを通じて魅力ある広報活動を実施していく。



品川エリア最大級のイベント！ 「しながわ宿場まつり行列&交通安全パレード」に参加

自衛隊東京地方協力本部五反田募集案内所（所長 野澤2陸尉）は9月28日、旧東海道品川宿（八ツ山から青物横丁の間）で開催された「第32回しながわ宿場まつり」において、第1普通科連隊の支援を受けて品川区自衛隊家族会（会長 岩本佳子氏）とともに広報活動を実施した。

このイベントは、東海道五十三次で最初の宿場町として栄えた品川の伝統と文化遺産を次世代に伝え、地域を活性化させることを目的としてスタートした。また、全国交通安全運動週間に合わせ交通安全防止啓蒙のために行われるパレードでは、江戸装束を身にまとった参加者が旧東海道を練り歩くなど、多くの区民に親しまれている品川エリア最大級のものである。

当日は、清々しい秋晴れの下、沿道は大勢の来場者で賑わい、第1普通科連隊の隊員で編成された普段見る機会の少ない陸上自衛隊のらっぱ隊の斉一な動作と勇壮な姿に圧倒された様子で、迫力あるらっぱ吹奏に大きな歓声を上げていた。また、五反田募集案内所は「陸海空自衛官募集」の横断幕を、品川区自衛隊家族会は「自衛官募集」の提灯を掲げてパレードに参加し、詰めかけた来場者に自衛官募集の周知を行った。

来場者からは「自衛隊かっこいい！」「迫力あるらっぱ吹奏を聞くことができて感動した」「このような自衛隊の姿を初めて見た！自衛隊さん頑張ってください！」などの声が聞かれ、自衛隊に対する理解の促進を図ることができたと感じた。

五反田募集案内所では、今後も地域に密着した募集・広報活動を部隊及び協力団体等と連携しながら実施し、防衛省・自衛隊の活動に対する理解と関心を高めて、自衛官募集業務につなげていく。

